

戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）
研究開発プログラム「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」
平成22年度採択プロジェクト企画調査 事後評価結果報告書

1. 研究代表者：佐藤 俊郎（株式会社環境デザイン機構 代表取締役）
2. プロジェクト企画調査の題名：生涯現役高齢者が支える縮退都市の再活性化
3. プロジェクト企画調査期間：平成22年10月～平成23年3月
4. プロジェクト企画調査の概要：

本企画調査では、縮退都市における高齢者居住の実態と斜面地から中心市街地への移住に関するニーズ・問題点の把握と、斜面地居住者の転居に関する条件設定に向けた問題点、可能性、課題の抽出を行い、縮退都市の再活性化策を提案する研究開発プロジェクトの実行可能性を検証することを目標とした。そのため、斜面市街地に関する既存資料、情報、データ収集を基にした住民へのアンケート調査・インタビュー調査と、先進的な取り組みを行っている他の縮退都市への視察調査を実施し、それらの調査結果を基礎として斜面地居住のあり方、将来における再生への道筋、さらに中心市街地との関連などを検討し、研究開発プロジェクトを展開するための仮説を構築した。

5. 事後評価結果

5-1. プロジェクト企画調査の目標の達成状況

調査は、事例調査、アンケート調査、ヒアリング、ワークショップ実施など、多岐にわたって行われ、実態の把握がなされた。しかし、研究計画自体が『斜面地に居住する高齢者は転居を希望している』という仮説を前提として調査が実施されたため、調査項目が高齢者住民の住み替え促進策に偏っていたり、質問が誘導的であるという問題が指摘される。また調査結果から、高齢者になるほど転居ではなく居住継続の意向が強くなることが明らかになり、研究計画の仮説と実際の高齢者のニーズに乖離があったことが示された。この段階において、転居したくない高齢者にヒアリングの対象を広げ、居住継続のための支援策について検討した点は評価できる。しかし、高齢者の意識の変化や理由を把握するための分析は十分に行われていない。そのため、結局のところ斜面地での高齢者の住居の課題とその解決策について明確な答えを示すには至らなかった。さらに、これらの調査活動の結果を今後の研究材料としてどう活用していくのか、その道筋（シナリオ）はみえない。一方、今までの領域総括やアドバイザーからの指摘事項として、倫理審査についての言及や、高齢者が移住を決定する要因についての分析等があったものの、それらへの対応は不十分である。加えて、研究の実施体制においても、高齢者の生活実態を現場サイドから常に把握している行政保健師や、老年学や社会学あるいは社会心理学の専門家が十分関与しておらず、協働の内容が不明確である。これらのことより、企画調査の目標を十分に達成したとは言い難く、研究体制を再構築したうえで、調査結果を精査することが必要であるといえる。

5-2. 研究開発プロジェクトの提案に向けた準備状況

本企画調査によって、斜面市街地に居住する高齢者の問題点や、中心市街地への住み替えの意向などの現状についてはある程度把握できたと考えられるが、調査結果の分析や先行事例の整理が不十分で

あり、研究開発プロジェクトの新規性・独創性が十分に示されたとはいえない。一方、斜面市街地居住高齢者の問題は確かに存在するので、その意味での問題解決の必要性は理解できるものの、基本的な住民のニーズ把握が不十分なので、この企画調査を基に新しい研究をスタートさせるには課題が残っている。また、本企画調査では都市計画や建築分野などのいわゆるハードの面からの資料整理が中心となっており、このような都市構造の中で、移住や都市再生の方策に加え、住み続けるにはどのようなコミュニティ形成が大切なのか、そのためにどのような仕組みや仕掛けが必要なのかを実態調査からアプローチすることも重要である。加えて、コミュニティビジネスの動向や、リバースモーゲージの在り方、コレクティブハウスの可能性、各地のリタイアメントコミュニティや高齢者の住まい方の多様性などについても、より認識を深めた議論が必要であろう。

このように、本企画調査を通じた研究開発プロジェクトの提案に向けた準備状況としては多くの課題が残っている。しかし、今回の企画調査で得られた結果をベースに、斜面居住者、コミュニティニーズ、高齢者の転居におけるメリット・デメリットの十分な分析、研究協力者体制の整備等を行い、研究開発プロジェクトを提案する場合は、特徴的な都市構造を持つ地域だけに、先駆的な取り組みになる可能性がある。ただし、今回対象とした地域は実際にはタクシーで病院に行けるというレベルであり、絶対的な条件不利地域とは言い難い側面もある。そのため、ユーザーニーズをもっと正確に把握し、論拠に基づいた仮説を構築し直すことも必要であろう。